

第11回 U-9 フットサル交歓会 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、各チームとふれあいを深めるとともにフットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図る。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 後 援 苫小牧市教育委員会
5. 期 日 2020年2月8日（土）、2月9日（日）
6. 会 場 東小・門別・新冠・静内・浦河
7. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
- ②前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録された単独のチームであること。
- ②前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- ④U10の女子の参加を認める。

8. 競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規程を定める。

(1) ピッチ

- ・大きさ：サイズは原則として32m×16m
- ・センターサークル：半径2.5m
- ・ペナルティーエリア四分円の半径：5m
- ・ペナルティーマーク：5m
- ・第2ペナルティーマーク：8m
- ・交代ゾーンの長さ：4m
- ・タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m

(2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・フリーキック：4m
- ・コーナーキック：4m
- ・キックイン：4m

(3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。

(4) 競技者の数

- ・競技者の数：5名

- ・交代要員の数：制限しない
- ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は役員4名以内、選手の数には制限しない。
- (6) 試合時間は20分（前後半各10分、ハーフタイムのインターバル3分）のランニングタイムとする。
- (7) 勝敗が決定しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。ただし、決勝戦においては、10分（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
- (8) タイムアウトは適用しない。

9. 競技方法

- (1) 1グループ4チーム、または5チームとして、7グループの予選リーグを行う。
- (2) 決勝トーナメントは、予選各グループの1位と、5チームリーグの2位のチームで行う。
- (3) フェニックストーナメントは、予選各グループで決勝トーナメントに進出できなかったチームで行う。
- (4) 3位決定戦は行わず、準決勝敗退の両チームを3位とする。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) 予選リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ①当該チーム間の対戦成績
 - ②当該チーム間の得失点差
 - ③当該チーム間の総得点数
 - ④グループ内での総得失点差
 - ⑤グループ内での総得点数
 - ⑥PK方式（1チーム5名ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う）により決定する。
- (7) WCの決定方法は以下の通りとする。（勝点は勝—3、引分—1、負—0）
 - ①勝点、②得失点、③総得点、④PK方式（1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。）により決定する。

10. 組合せ 組合せは苫小牧地区サッカー協会第4種委員会代表者会議において抽選し決定する。

11. 帯同審判

- (1) 参加チームは、公認フットサル審判員を帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、審判割当によりその業務に当たるものとする。
- (3) 帯同審判員は、役員と兼ねることはできる。

12. メンバー提出用紙

メンバー表の提出はない。

13. ユニフォーム

ユニフォームチェックは当該同士で行うものとする。

ただし両チームのユニフォームとは異なるビブスの着用を義務づける。

キーパーはビブス対応を可とする。

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正のほかに副として正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること。

- (2) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
- (3) シャツの前面・背面に選手番号をつけること。また、ショーツにも選手番号を付ける事が望ましい。なお、選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。
- (4) 必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (5) パワープレーを行うチームのフィールドプレイヤーは、自チームのゴールキーパーと同一のシャツに当該選手の選手番号を付けること。
- (6) ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみ認める。
- (7) その他の事項については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。

14. 監督会議 第1試合開始30分前に行う。

15. 開会式 開会式は開催しない。

16. 表彰及び表彰式

- (1) 優勝・準優勝・第3位にはトロフィー・表彰状を授与する。
- (2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。

17. 負傷及び事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行なうこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

18. その他

- (1) 参加申込みに当たっては、開催要項中の参加資格を踏まえるとともに、移籍等により選抜的なチーム編成されることのないように配慮されること。
- (2) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (3) 交代要員は、交代の直前を除きユニフォームと異なるビブスを着用すること。
- (4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、事業委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては採取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (6) 選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。

19. フィールドの大きさ

